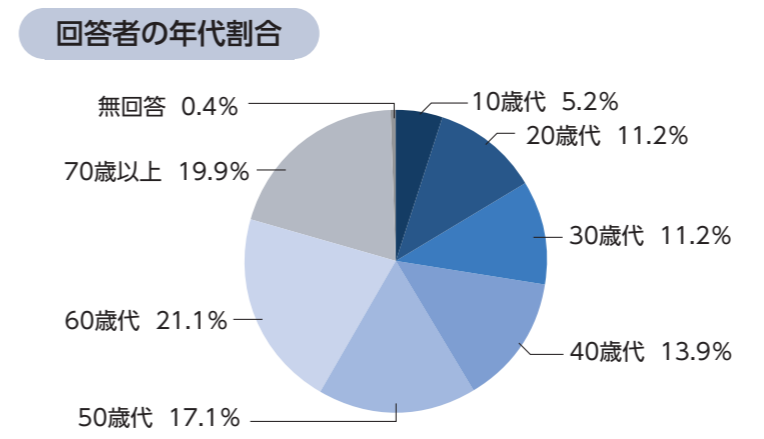


皆さんの声でもっと住みやすく愛されるまちへ

# まちづくりアンケート結果

伯耆町は今年7月、16歳以上の町民を対象に「まちづくりアンケート」を実施した結果、回答率は46.9%となり、前回の回答率を大幅に上回りました。このアンケートは、平成27年に策定した「第2次伯耆町総合計画」に基づき行ってきた取組みの効果や、各分野における施策の重要度や満足度を調査したものです。この結果は、まちづくりの指針となる新たな総合計画などを策定するための資料として活用させていただきます。ご回答をいただきました皆様、ご協力ありがとうございました。

	今回	前回 (平成27年)
対象者	16歳以上の町民	
対象者数	9,453人	9,913人
対象者の抽出方法	無作為	
調査方法	郵送により配布・回収	
調査期間	令和2年7～8月	平成27年7～8月
配布総数	1,500通	1,505通
回収総数	703通	572通
回収割合	46.9%	38.0%



## 人口減少の抑制と地域の活性化の取組

Q. 人口減少を抑制し、活力ある地域をつくるために伯耆町が最も重視すべきことは何だと思えますか

- 1 **産業を活性化し、安定した雇用を創出する** 34.0% (38.6%)
- 2 **結婚・出産・子育てを応援する** 27.5% (32.4%)
- 3 **ひとを呼び込むための仕組みを作る** 19.6% (15.3%)
- くらしの安全・安心を守る 12.7% (7.9%)
- わからない 3.4% (2.1%)
- その他 2.8% (3.7%)

若い世代が、伯耆町で安心して働き、結婚し、子育てができるような環境づくりが、人口増と地域活性化のカギ。上位3位は、前回調査と同じ順位でした。

## 町の取組みに対する満足度・重要度

町の取組み50項目について、満足度と重要度を5段階で評価してもらいました。

そのうち、満足度は44項目が前回調査より上昇しました。また、満足度・重要度ともに、社会基盤整備、住環境など住民生活の基盤となる事業(サービス)について評価が高く、産業振興(農業・林業・観光など)に関する事業は満足度・重要度とも低い評価となりました。

上下水道、自然環境、ごみ減量化への取組みが高評価

満足度調査	重要度調査
1位 上下水道の安定供給	1位 上下水道の安定供給
2位 自然環境や景観の保全	2位 安全な生活道路網や広域的な道路網の整備
3位 ごみの減量化やリサイクルなどの推進	3位 地域公共交通の提供(デマンドバス・外出支援サービス)
4位 健康診査、健康相談、健康教育など健康対策事業の推進	4位 自然環境や景観の保全
5位 消防施設の整備(消火栓・防火水槽など)	5位 治山治水施設の整備(かけ崩れの防止や砂防ダムなど)
	6位 伯耆町への移住・定住を促進するための取組
	7位 特産品開発、新規事業、起業化への支援
	8位 空き家対策の推進
	9位 農林業の担い手・後継者の育成支援
	10位 農地の荒廃防止のための取組

46位 地域の歴史・芸術・文化の保守及び継承の取組、文化施設の有効活用
47位 農業と観光を連携させた交流型事業への取組
48位 集落など自主的活動の支援と地域リーダー育成
49位 行政手続きに係る電子申請・電子納付の整備
50位 インバウンドを含めた観光客受入体制や観光情報の提供体制の整備

7割の人が愛着があり、住みやすいと感じている。愛着がある・住みやすいと回答した人の割合は、前回調査を上回りました。特に、「住みやすい」と回答した人は74.4%で、前回より5.5ポイント増加しました。

Q. あなたは伯耆町に愛着がありますか (伯耆町が好きですか) (単位：%)

はい	いいえ	どちらでもない	無回答
72.4 (72.0)	5.2 (2.6)	22.1 (24.3)	0.3 (1.1)

Q. 伯耆町は住みやすいまちだと感じますか (単位：%)

はい	いいえ	どちらでもない	無回答
74.4 (68.9)	5.7 (5.6)	19.5 (24.7)	0.4 (0.8)

## 調査結果(概要) ※( )内は平成27年度調査の値

調査結果(概要) ※( )内は平成27年度調査の値



上位5位は、長く安心して暮らすために必要なものばかり。同アンケートで「伯耆町以外に住みたい」と回答した人の多くが、交通の不便さを理由に挙げていることから、交通環境の改善は重要な課題

空き家対策・農林業の支援は不満度が高い

問い合わせ先 企画課 経営企画室 TEL 0859-6814212